



当院 外科・真智涼介医長が「第22回世界内視鏡外科学会 MIS Championship」で世界一(優勝)を獲得！

2026年9月4日に開催された「第22回世界内視鏡外科学会（WCES 2026）」において、当院 外科の真智涼介（まち りょうすけ）医長が日本代表チームの一員（医師3名）として出場し、技術競技部門「MIS Championship」で見事世界一（優勝）に輝きました！

■ MIS Championship とは

内視鏡外科手術（腹腔鏡手術など）における縫合や結紮（けっさつ：血管や組織を縛る手技）の「速さ」と「正確性」を世界各国の代表チームが競い合う、国際的な技術競技大会です。今回の優勝は、当院が誇る内視鏡外科手術の技術力および精度の高さが、世界最高峰の舞台で証明された快挙となります。

真智涼介 医長 コメント

「今回の優勝は個人の成果ではなく、日本の内視鏡外科教育とチーム医療の成果だと感じております。今後はこの経験を若手外科医の育成やさらなる手術技術の向上に生かし、地域の患者さんへより安全で質の高い医療を提供できるよう、より一層努めてまいります。」

当院では今後も、患者さんの身体への負担が少ない「低侵襲手術（MIS）」を推進し、安心・安全な先端医療の提供に努めてまいります。

